

R4年度 小・中学校外国語教育研修

○ 演習Ⅰ

～単元計画・評価計画について
(小学校)

自分の中では一番
の自己紹介ができ
たと思う。

英語で話すことが
楽しくなってきた。

家でも家族に自己
紹介を聞いてもらっ
てうれしかった！



○ 単元計画について

I like swimming.

My birthday is September 30th.

I can swim fast.

I'm from Shintomi.



単元のゴールとしての言語活動：新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらい、相手のことをよく知るために自己紹介をし合う。

例

①

バックワードデザイン

1 好きなものを伝え合うことができる。

2 誕生日を伝え合うことができる。

3 できることを伝え合うことができる。

4 出身を伝え合うことができる。

5 自己紹介のためのメモを書くことができる。

6 自己紹介し合うことができる。

7 友だちと自己紹介し合うことができる。

8 ALTと自己紹介し合うことができる。

単元のゴールとしての言語活動：新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらい、相手のことをよく知るために自己紹介をし合う。

例

①

バックワードデザイン

① 好きなものを伝え合うことができる。

② 誕生日を伝え合うことができる。

③ できることを伝え合うことができる。

④ 出身を伝え合うことができる。

5 自己紹介のためのメモを書くことができる。

6 自己紹介し合うことができる。

7 友だちと自己紹介し合うことができる。

8 ALTと自己紹介し合うことができる。

① I like swimming.

② My birthday is September 30th.

③ I can swim fast.

④ I'm from Shintomi.



外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

小学校外国語科学習指導要領より

見方・考え方を働かせる

- 外国語や背景にある文化を社会や世界、他者
との関わりに着目して捉える。
- コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、再構築する。

インプット



アウトプット



言語活動はどれでしょう？

- 1 ALTの言ったことを繰り返す言う活動
- 2 日本語で自分の考えや気持ちを伝え合う活動
- 3 英語の歌を歌う活動
- 4 英語を使ったゲームをする活動
- 5 発音練習をする活動
- 6 アルファベットを書いて練習する活動
- 7 会話例の（ ）を自分のことに置き換えて友だちと伝え合う活動

「外国語活動」及び「外国語科」における言語活動



言語活動は「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。



英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動
英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動

練習

発音練習、歌、英語の文字を機械的に書く活動

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」より

単元のゴールとしての言語活動：新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらい、相手のことをよく知るために自己紹介をし合う。

例①

バックワードデザイン

- 1 好きなものを伝え合うことができる。
- 2 誕生日を伝え合うことができる。
- 3 できることを伝え合うことができる。
- 4 出身を伝え合うことができる。
- 5 自己紹介のためのメモを書くこと
- 6 自己紹介し合うことができる。
- 7 友だちと自己紹介し合うことがで
- 8 ALTと自己紹介し合うことができ

単元のゴールとしての言語活動：新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらい、相手のことをよく知るために自己紹介をし合う。

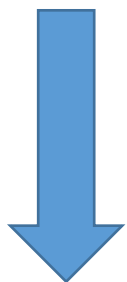
例②

バックワードデザイン

- 今できる力で自己紹介をすることができる。
- 自分のことを分かりやすく自己紹介することができる。
- 自己紹介をし合うことができる。(1回目)
- 自己紹介をし合うことができる。(2回目)
- 自己紹介をして、名前や好きなものを書くことができる。
- 自己紹介をし合うことができる。(3回目)
- 友だちと自己紹介し合うことができる。
- ALTと自己紹介し合うことができる。

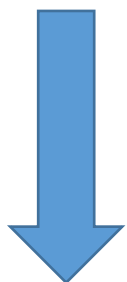
自己紹介(1回目)

I'm Hiroki. My birthday is September 30th.
I like swimming.



自己紹介(2回目)

I'm Hiroki. I like swimming. I can swim fast.
My birthday is September 30th.

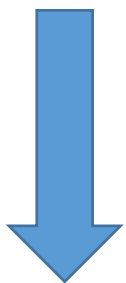


自己紹介(3回目)

I'm Hiroki. I like swimming. I can swim fast.
Do you like swimming?
My birthday is September 30th.
When is your birthday?

自己紹介（1回目）

I'm Hiroki. My birthday is September 30th.
I like swimming.

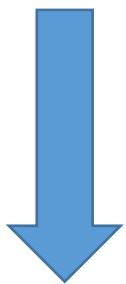


自己紹介（2回目）

(例)

- ・児童同士の学び合い
- ・中間指導での指導者からの学び
- ・ALTが話す英語からヒントを得る
- ・自分自身の気づき

swim fast.



自己紹介（3回目）

Do you like swimming?

My birthday is September 30th.

When is your birthday?

swim fast.

単元のゴールとしての言語活動：新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらうための自己紹介をし合う。

例

①

ワードデザイン

好きなものを紹介することができる。
自己紹介のためのメモを書くことができる。
自己紹介し合うことができる。
友だちと自己紹介し合うことができる。
ALTと自己紹介し合うことができる。

ブロック型

ブロックのように学習を積み上げていき、単元の最後の言語活動に向かうイメージ

単元のゴールとして、新しい学級の友達や担任、ALTなどに、自分のことをよく分かってもらうための自己紹介をし合う。

例

②

今できる力で自己紹介をすることができる。
自分のことを分かりやすく自己紹介することができる。
自己紹介をし合うことができる。
友だちと自己紹介し合うことができる。
ALTと自己紹介し合うことができる。

漆塗り型

漆を何度も塗り重ねるように、間違えてもよいから、言語材料を繰り返し使い、修正をしながら身に付けるイメージ

単元計画作成についてのまとめ

- 漆塗り型の単元計画を立てて指導する。
- 指導者は、見方・考え方を働かせながら、言語活動を通じた授業を充実させる。
- 言語活動は単元の最初から行い、言語活動を充実させる。

○ 評価について

『評価』は何のため？

学力を測るため

指導者の指導改善
児童の学習改善



通知表を
つけるため
保護者への
報告

児童や指導者が
できること
できないことを
明確にするため



英語の評価は
難しい...

評価計画が整っていないから

外国語の評価計画

	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度				
	聞く	読む	話す (や)	話す (発)	書く	聞く	読む	話す (や)	話す (発)	書く	聞く	読む	話す (や)	話す (発)	書く
Unit1															
Unit2															
Unit3															
Unit4															
Unit5															

単元において、
指導する領域
は限定されて
いない。

聞く	読む	話す やり取り	話す 発表	書く
----	----	------------	----------	----

評価計画（例）



「記録に残す評価」年間計画一覧（例） New Horizon Elementary
【5年生】

領域	聞くこと		読むこと		話すこと【やり取り】		話すこと【発表】		書くこと		
目標	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	ア	イ	
目標	う表に自ゆに現つ分つすをいのくる聞てこりき聞とは取単やっるな身きこ語近りと句でとがや簡話で基単さき本なれるこのよとば	き事日ゆ取柄常つるに生くこつ活りといにはがて聞つて具すきき休るりよな近話う情でさく報聞れすを単れる聞なば	えし活でそ字のき体読でよみ書う方がにをれす発たる音文字を識と別	味単音がな声分語でか句十でり基にう本慣に的れすな親る表し現んだ意簡	る頼基こを本とし的がたなきてり現れをよ用うにいてすじ指るた示り・す依	よをち事日用を柄常に間て生すて単つ活る伝ないにえ語て聞合句自すこ基の身と本考近づがえでてなや簡き表気単る現持な	るえそなの自よたの語物分うり場句にやにしてや聞相すて質基す手る伝聞本ののえを的事合しな柄とうた表に及こり現つと質をい身が問用ててに簡回き答て単り	きの事日るな柄常よ表に生う現つ活にをいにす用て聞るい簡すて単る話な身こ語近にを上伝す用でえりい簡よるい簡上伝て単でえ	話な自よ身す語分う近こ句のとでとや考す簡が基える単て本や内なきの気容事るな持を柄よ表ち整にう現な理つにをどしいす用をたてるい簡上伝て単でえ	写な声まく大す語でたこ文こ句十、と字とや分語が基に順で小で本慣をき文きのれ意る字るな親識よをよ表しう活う現んなに字にをだがす体す書聞らるでるき単音・書	る基分によ本につるうの慣いになれてす表観例とる現し文やをんを身書だ参く簡考こ単に簡とな音書が語声なで切てきや

言語活動例

留意事項

イラストや写真などを結びつける。	日時や時刻、値段などを表す具体的な情報を聞き取る。	視覚的情報を参考にしながら話の概要を捉える。	大文字小文字を識別する。	読み方を適切に発音する。	※言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読む。 ※音声と文字とを関連付ける指導に留める。 ※音声や文字の表示やパンフレットなどから必要と情報を得る。	挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに応じたり断ったりする。	自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。	自分に関する簡単な質問に対して、その場で答えたり、相手に簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする。	時刻や日時、場所など日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す。	自分の趣味や得意なこと等を含めた自己紹介をする。	学校生活や地域に関する自分の気持ちや考えを話す。	文字の読み方を発音されるのを聞いて、活字体の大文字小文字を書く。	相手に伝えたい内容の目的をもつて、語と語の区切りに注意して、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す。	相手に伝えるなどの目的をもって、前や年齢、趣味、きらいなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や表現の中から言葉を選んで書く。（書き写す）
------------------	---------------------------	------------------------	--------------	--------------	--	--------------------------------------	--	--	--------------------------------	--------------------------	--------------------------	----------------------------------	---	---

単元のゴールとしての言語活動（例）

Unit1	知◎							知◎					知◎思◎主◎																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										</
-------	----	--	--	--	--	--	--	----	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----



こちらからアクセスして
ください。

パスワード:gaikoku



【ダウンロード資料】

- 👍 資料① 「記録に残す評価」年間計画一覧（例）解説.pdf [🔗](#)
- 👍 資料② 「記録に残す評価」年間計画一覧（例）Junior Sunshine.pdf [🔗](#)、Excel [🔗](#)
- 👍 資料③ 「記録に残す評価」年間計画一覧（例）Here We Go.pdf [🔗](#)、Excel [🔗](#)
- 👍 資料④ 「記録に残す評価」年間計画一覧（例）New Horizon Elementary.pdf [🔗](#)、Excel [🔗](#)

目 標

どの単元で、何ができるようにすることをねらうのか。



評 価

どの単元で、どの領域をどの観点で評価するのか。

領域	目標	聞くこと			読むこと		話すこと〔やり取り〕			話すこと〔発表〕			書くこと										
		ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ									
	単元名	う表に自ゆに現つ分つすをいのくする聞てこりき簡とは取単やつるな身きこ語近りと句でとがや簡話で基単さき本なれるこのよなとば	き事日ゆ取柄常つに生くる活りこつ活りといにはがて聞つて具すききるりよな近話う情でさき報聞れすを単れる聞なば	捉事日ゆえ柄常つに生くる活りこつ活りといにはがて聞つて短すききるりよな近話うのでさき報聞れすを単れるをなば	がし活でそ字きき体てよみ書う方かにをれす発たる音文す字をこ識と別	味草音がな声分語でか句十よ基にう本慣すに的れすな親る表し現んだ意簡	る頼基こを本とし的がたなでり表きそ現るれをよら用にいに応てすじ指るた示り・す依	よをち事日用を柄常にい簡に生すて単つ活る伝ないにえ語て聞合句自すうや分るこ基の身に本考近がのえでてなや簡き表気単る現持な	るえそなの自よたの語物分うり場句にやにしてや聞相すて質基す手の伝聞本のるえを的事こ合しな柄とうた表に及こり現つ身と質をい身が問用てでにい簡回き答て単り	きの事日常な柄常に生う現つ活にをいにす用て聞るい簡す話な身す語近こ句でとや簡が基単て本な	す語す自こ句る分とや内のが基容こて本をときき整にるな理つよ表しいう現たてにをどしい簡よて単う話なと	話な自よ身す語分う近こ句のとてとや考す簡が基える単て本や内なきの気容事な持を柄よ表ち整にう現な理つにをどしいす用をたてるい簡上伝てでうえ	写な声まく大す語でたこ文こ句十、と字とや分語が・が基に順で小て本慣をき文きめれる意字るな親識よをよ表しいう活う現んなに字にをだがす書簡らるでるき単音・書	る基分自よ本につ分うの慣いのなれてこす表観例とる現し文やをんを身書だ参近く簡考てこ単に簡とな音単が語声なて句で事きや十柄									
言語活動例	留意事項	イラストや写真などを結びつける。	日時や時刻、値段などを表す具体的な情報を聞き取る。	視覚的情報を参考にしながら話の概要を捉える。	大文字小文字を識別する。	読み方を適切に発音する。	※言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読む。 ※音声と文字とを関連付ける指導に留める。 指示やパンフレットなどから必用とする情報を得る。	挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をしたり、それらに応じたり断じたりする。	自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。	自分に関する簡単な質問に対して、その場で答えたり、相手に問する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする。	時刻や日時、場所など日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す。	自分の趣味や得意なこと等を含めた自己紹介をする。	学校生活や地域に関することなどについて、自分の気持ちや考えを話す。	文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字小文字を書く。	相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りを意識して、音声で十分に慣れ親しんだ基本的事実的な語句を書き出す。	相手に伝えるなどの目的をもって、年齢、趣味、好き嫌いなど、音声で十分に慣れ親しんだ基本的事実的な語句の中から言葉を選んで書く。（書き写す）	単元のゴールとしての言語活動例	観点及び評価箇所数					
Unit1	Hello, friends.	知◎						知◎				知◎思◎主◎					自分のことをよく知ってもらうために、名前や好きなものなどについて、新しい字組の友達や先生に、自己紹介をする。	知・技	3	思・判・表	1	主体	1
Unit2	When is your birthday?	知◎			知◎	知◎					知◎						相手の事を覚えるために、誕生日や誕生日に贈りもの等について、友達にたずねたり尋ねたりすることによって、ハローカードやカードを贈り合う。	知・技	4	思・判・表	0	主体	0
Unit3	What do you want study?	知◎											知◎思◎主◎					知・技	2	思・判・表	1	主体	1
Unit4	He can bake bread well.			思◎主◎	知◎	知◎					知◎思◎主◎							知・技	3	思・判・表	2	主体	2
Unit5	Where is the post office?	知◎						知◎			知◎							知・技	3	思・判・表	0	主体	0
Unit6	What would you like?						知◎		知◎思◎主◎									知・技	2	思・判・表	1	主体	1
Unit7	Welcome to Japan.			思◎主◎					知◎思◎主◎									知・技	1	思・判・表	2	主体	2
Unit8	Who is your hero?												知◎思◎主◎	知◎				知・技	2	思・判・表	1	主体	1
CYS1	外国の人に自己紹介					知◎		知◎				知◎思◎主◎						知・技	3	思・判・表	1	主体	1
CYS2	地域のおすすめを紹介												知◎思◎主◎	知◎				知・技	2	思・判・表	1	主体	1
CYS3	「日本のすてき」を紹介												知◎思◎主◎	知◎				知・技	2	思・判・表	1	主体	1
観点別評価回数		知・技(4) 思・判・表(2) 主体(2)			知・技(6) 思・判・表(0) 主体(0)		知・技(6) 思・判・表(3) 主体(3)			知・技(8) 思・判・表(6) 主体(6)			知・技(3) 思・判・表(0) 主体(0)				知・技(27) 思・判・表(11) 主体(11)						

領域	聞くこと										読むこと										話すこと【やり取り】										話すこと【発表】										書くこと									
目標	ア					イ					ウ					ア					イ					ウ					ア					イ					ウ									
	う表に自 に現つ分 すをいの る聞てこ き簡やっ るな身 こ語近 と句で がや語	き事日 取柄常 るに生 こつ活 ことい がて聞 て具す き体る るの身 とよ近	捉事日 え柄常 るに生 こつ活 ことい がて聞 て具す き体る るの身 とよ近	がし活 でそ字 きの体 読で書 よ方か にをれ す発た る音文 す字	味単音 がな声 分語で が句十 るよ分 る本慣 うに的 すな親 る表し 現んだ 簡	る類基 こを本 とし的 がたな でり表 きそ現 るれを よら用 うにい にんて すに	よをち事 う用を柄 にい簡に生 すて伝単 るえ語つ 合句自 うや分 こ基の身 と本事近	るえそな の場物 うり句に してや相 すて質本 る伝問の えを事 合しな柄 うた表と こり現つ	きの事日 るな柄常 よ表に生 う現つ活 にをに用 るに簡 て単身 す語近	す語す自 こ句る分 とや内の が基容と で本をに き整の るな理 よ表し う現た にを上	話な自よ す語分う こ句のと とや考す が基え単 で本や内 きの気容 るな持を よ表しし う現ち整 にう現な	字な声ま く大文 す語たこ こ句十、 とや分語 が基に順 で本慣を きのれ意 るな親識 よを活 う現しな にをだが す書簡ら るき早音	る基分 よ本に う的慣 になて す表親 例と文 をんを 書だ参 近こ簡 考で考 に考に																																					
言語活動例	挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をして、それらに 応じたり断ったりできる。																																																	
留意事項	自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をした り質問に答えたりして伝え合うことができる。																																																	
Unit1	Hello																																																	
Unit2	When is y																																																	
Unit3	What do y																																																	
Unit4	He can ba																																																	
Unit5	Where is t																																																	
Unit6	What wo																																																	
Unit7	Welcor																																																	
Unit8	Who is																																																	
CYS1	外国の人																																																	
CYS2	地域のお																																																	
CYS3	「日本の																																																	
観点別評価	本(0)																																																	

評価箇所数			
1	主体	1	
0	主体	0	
1	主体	1	
2	主体	2	
0	主体	0	
1	主体	1	
2	主体	2	
1	主体	1	
1	主体	1	
1	主体	1	
1	主体	1	

表(11)主体(11)

「記録に残す評価」年間計画一覧（例）

～単元のゴールとしての言語活動（例）～

単元のゴールとしての言語活動

「話すこと」
（発表）

自分のことをよく知ってもら
うために、ALTや友達に、
「行ってみたい」と思ってもら
えるように、おすすめの国
について、パンフレットを用
いて紹介する。

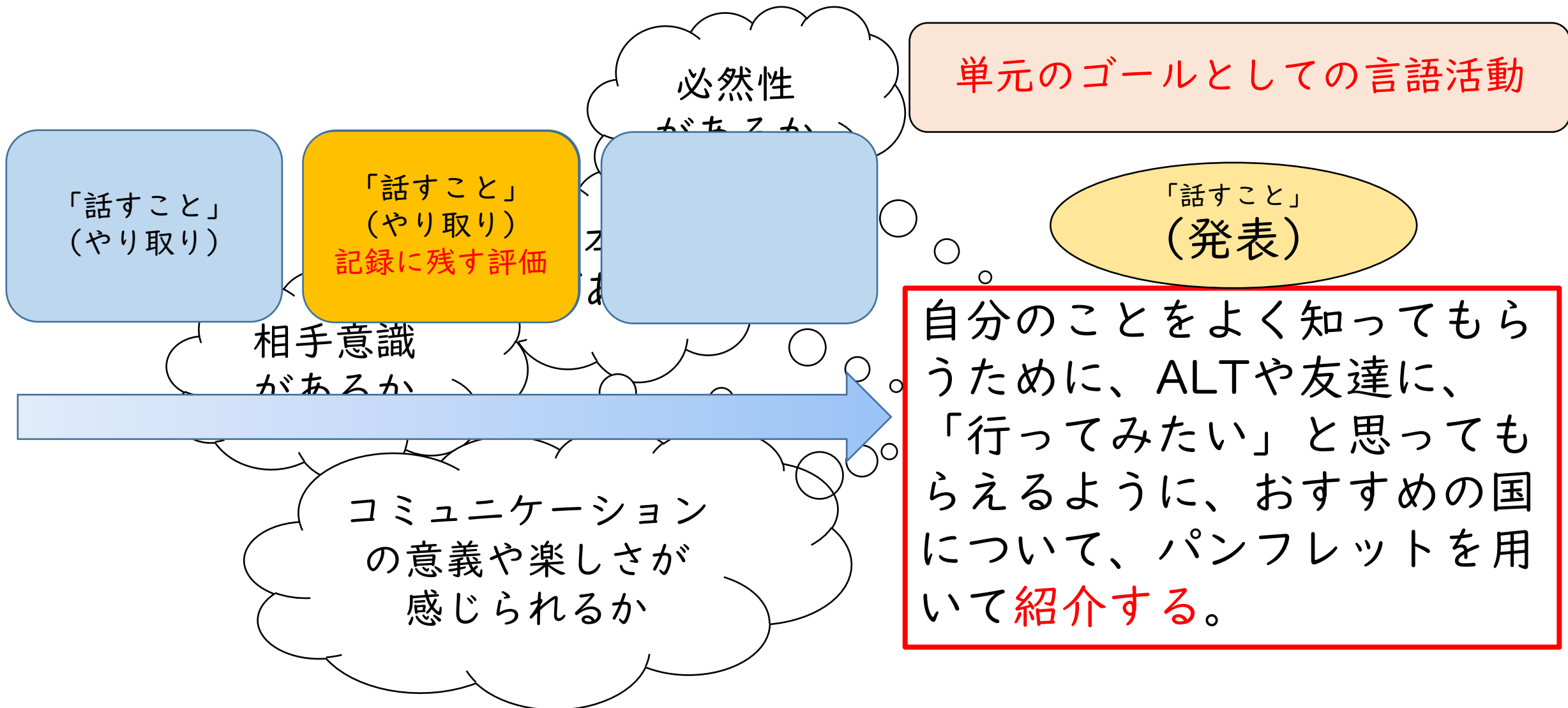
必然性
があるか

「本物」
であるか

相手意識
があるか

コミュニケーション
の意義や楽しさが
感じられるか

「記録に残す評価」年間計画一覧（例） ～単元のゴールとしての言語活動（例）～



評価計画についてのまとめ

- 単元において、「児童が何ができるようになるのか」を明確にし、評価計画を作成して、指導に生かす。
- 「指導と評価の一体化」を図りながら、指導者の指導改善や児童の学習改善を図る。

○ 演習Ⅰ

～単元計画・評価計画について
(中学校)

評価計画

中学校では、5領域3観点の合計15項目を、各学年で評価する。評価していない領域や観点がないよう、1年を通した評価計画があるとよい。

New Horizon English Course I (東京書籍)

「話すこと(発表)」のCan-Do

関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

Stage 1	自分が好きなことや日常的にしていることについて、即興で発表することができる。
Stage 2	身近な人や有名人について、発表することができる。
Stage 3	自分が体験したことやその感想などについて、発表することができる。

評価計画の例

New Horizon English Course (東京書籍) の場合

領域

単元

	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
Can-Do リスト (教科書 より)	はっきりと話されれば、 日常的な話題について、 必要な情報を聞き取る ことができる。	日常的な話題について、 簡単な語句や文で書かれ たものから必要な情報を 読み取ることができる。 (～200語程度)	関心のある事柄について 簡単な語句や文を用いて 即興で伝えあうことがで きる。	関心のある事柄や体験し たことなどについて、簡 単な語句や文を用いて話 すことができる。	関心のある事柄や体験 したことなどについて、 簡単な語句や文を用いて 正確に書くことができる。 (～40語程度)
Unit 1	相手の自己紹介を聞いて その内容を聞き取ること ができる。			自分が普段していること やできることについて、 即興で自己紹介をするこ とができる。	Unit1で評価 すること
Unit 2	相手に質問されたことに ついて、その内容を聞き 取ることができる。		相手のことや身近な人や ものについて話したり、 尋ねたり答えたりするこ とができる。		
Unit 3	相手に質問されたことに ついて、その野菜園を聞 き取ることができる。		相手のことについて、伝 え合ったりさらに質問を したりして、情報を交換 できる。		
Stage Activity		簡単な英文で書かれたじ ょうかいなどを読んで、 主な内容を読み取るこ とができる。	単元のまとまりで 評価すること		自分が好きなことや普段 していることについて、 つながりのある英文で書 くことができる。

単元ごとの 指導計画の例 Ⅰ

New Horizon English Course Ⅰ（東京書籍）
Unit8の場合

Unit8

1時間目	現在進行形ができるようになる。
2時間目	教科書の本文を理解する。
3時間目	現在進行形の疑問文ができるようになる。
4時間目	教科書の本文を理解する。
5時間目	感嘆文が使えるようになる。
6時間目	教科書の本文を理解する。
7時間目	学校生活の一場面をレポートする。(パフォーマンステスト)

教科書の流れに沿って、言語材料と本文の理解を繰り返す。
(ブロック型指導)

単元ごとの 指導計画の例 2

New Horizon English Course I
Unit 8の場合

「小学6年生に学校の雰囲気を知ってもらうために、学校生活の一場面をレポートすることができる。」 話すこと（発表）

1時間目	電話での会話から、相手がしていることを聞き取ることができる。	指導に生かす評価
2時間目	電話で互いの様子を知るために、今やっていることを伝え合うことができる。	
3時間目	メグのバースデーパーティの準備に参加するために、互いがやっていることを伝えあうことができる。	
4時間目	自分が知っていることを相手に伝えるために、その状況を伝えたり聞き取ったりすることができる。	
5時間目	自分が見ているものの様子が伝わるように、自分の感想などを伝えながら話すことができる。	
6時間目	自分が見ていることの様子が伝わるように、自分の感想などを伝えながら話すことができる。	記録に残す評価
7時間目	小学6年生に学校の雰囲気を知ってもらうために、学校生活の一部をレポートすることができる。(評価)	

計画はバックワードで

指導は漆塗りで